

様式第1号（第6条関係）

協働事業に関する提案書

令和5年2月22日

（あて先）狭山市長

団体名 NPO 法人さやま生涯学習をすすめる市民の会

所在地

代表者名 藤原 俊昭

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	市民提案型協働事業
2 事業名	狭山市探訪ウォーキングマップの制作
3 事業期間	令和5年5月1日から令和6年3月31日
4 事業種別	単年度事業
5 事業予算	総額 282,600 円（内補助金申請額 282,000 円）
6 事業概要	生涯学習の視点で、狭山市の歴史・文化などに親しむツールとして活用できるような、狭山市の史跡旧跡や文化財などを巡るウォーキングマップを制作する。市内外の多くの人々が狭山を探訪してくれるように広報する。
7 希望する担当課	社会教育課
8 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書（様式第2号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業収支予算書（様式第3号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール（様式第4号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書（様式第5号）

様式第2号（第6条関係）

協働事業に関する企画書

団体名 NPO 法人さやま生涯学習をすすめる市民の会

1 事業名	狭山市探訪ウォーキングマップの制作
2 事業の詳細	狭山市には多くの史跡旧跡などが存在するが、それが魅力として知られていない。市内6地区に関し、地区毎に史跡旧跡や文化財を巡るウォーキングマップを3カ年計画で制作する（初年度2地区）。制作にあたっては、実際に歩いてみて、実用的なウォーキングコースを開発する。各コースに関してマップ・解説を制作し、魅力をアピールする。
3 実施体制	当会の会員を中心に、市内で活動している歴史に関する団体と協力しながら、コース案の設定、ウォーキングの実証を行って、マップ・解説原稿を制作する。社会教育課とマップ印刷仕様・部数等を協議して印刷発注。完成したマップは各公民館等で配布。市のホームページに掲載。
4 役割分担	<p>【提案団体の役割】 具体的なウォーキングコースの開拓とマップや解説書の制作、および事業の工程管理と推進。</p> <p>【市の役割】 文化財や史跡旧跡に関する資料の提供と、選定に関するアドバイス。完成したマップの配布および広報活動。</p>
5 協働の効果	市民の視点で、誰もが興味を持てるようなウォーキングコースの開発が出来る。 出来上がったマップを狭山市公認のマップとして、市内外に発信することにより、より多くの人に活用してもらえる。
6 事業のアピールポイント	生涯学習の視点で狭山の魅力を開拓し、だれもが親しみやすいウォーキングマップの形にすることによって、市内外を問わず、多くの人に狭山をより深く知ってもらえる。また実際に現地を訪れる人が増えることによって、地域の活性化にもつなげることも期待できる。